

第5学年 外国語学習指導案

日 時 令和元年 10月11日(金) 公開授業②

児 童 5年1組 男子13名 女子14名 計27名

場 所 視聴覚室

指導者 葛西 浩美

1 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 (We Can !① Unit 6)

2 主な言語材料

(1) 基本文

Where do you want to go? I want to go to (Italy).

Why? I want to [see / go to / visit] (the Colosseum).

I want to eat (pizza). I want to buy (olive oil).

You can eat / see / buy ~.

It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun].

(2) 語句

国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, The UK, etc)

状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun, etc)

動作 (visit, buy, eat, drink, etc)

その他 (Where, coffee, country) [既出] 動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、児童に広く世界に目を向けさせ、「どこの国であるか」を考えながら聞き取りをすること、「おすすめの国」を他者に伝えること、さらに自分が得た情報から「本当に行きたい国はどこか」について、その理由とともに伝えることを目標としている。児童は今、総合的な学習の時間で「食から世界を見つめよう」という単元を平行して学習しており、世界の国々への関心が高まっている。本教材では、デジタル教材などを用いて世界遺産や世界の国々の食習慣などについて知ることができるので、より一層興味をもち、自分が行きたい国やその理由を伝え合う学習に主体的に取り組むことが期待できる。また友達の行きたい国を尋ねたり答えたりする活動を通して、児童は **want to** ~ (～がしたい) という思いを伝える表現に親しむことができる。児童が主体的にコミュニケーションを図り、行きたい国の尋ね方や答え方、国名や状態・気持ち、行きたい理由の言い方に親しむとともに、自分が伝えたい表現を書き写すことに慣れ親しませる上で適した教材と考える。

(2) 児童について

児童はこれまでに **Unit1** では自分の好きなものやほしいもの、**Unit2** では誕生日などを尋ねたり答えたりする活動に親しんできた。また、**Unit3** では他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考え、**Unit4** では自分の一日の生活、**Unit5** では「できること」や「できないこと」について伝え合ってきた。児童はこれまでの学習を通して、知りたい事柄について尋ねたり答えたりする活動に慣れ親しみ、会話を楽しめるようになってきた。しかし、初出の語句・基本文が増えるたびに苦手意識をもち自分から話しかけることを躊躇する児童もいる。

書く活動では、大文字や小文字を用いた単語を書いたり、読んだりする学習に取り組んでいる。本単元では、学習した語句を選択し、字形に注意して国名などを書き写す。「p」「q」などが曖昧であったり、4線を意識していなかったりする児童がいるため「形」「位置」「スペース」「まとも」に気を付けて書いていくことを大切にしていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元の最終活動は「おすすめの国を紹介しよう」クイズである。その活動に向けて次のように学習を展開していく。

「出会う」段階では、最終目標を提示し、児童に単元全体の見通しをもたせる。世界地図や国旗にふれながら、世界遺産、世界の料理などについて視聴する活動を通して、世界の国々への知識を

広めるとともに、興味・関心をもたせる。また行きたい国を尋ねたり答えたりする表現と、世界や地域の写真を描写する形容詞に出会わせる。さらに you を主語にしてその国では「こんなことができる」ということをすすめる表現 can に触れる。

「慣れる」段階では、行きたい国とその理由について伝えるために want to～の表現に慣れ親しむ活動を取り入れる。また、eat～, see～, buy～の表現について段階的に慣れ親しませる。さらに、国名を書く活動を取り入れ、自分が行きたい国を書くことができるようにしていく。

「伝える」段階では、「おすすめの国」クイズを最終活動として行う。国を当てる活動を通して、can～や want to～の表現を繰り返して耳にし、自分の発表の中で使えるようにしていく。単元全体を通して学んだ表現を使い、相手意識をもって行きたい国や地域について説明したり自分の考えを整理して伝え合ったりする活動を取り入れる。クイズを通して、世界の国々への知識や興味・関心を広めるとともに、紹介する友達についての新たな一面の発見にもつながるようにしたい。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ・国名や行きたい場所、その理由について、聞いたり言ったりすることができる。また国名を書き写すことができる。 【知識及び技能】
- ・自分が行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 単元の評価規準と評価方法

観 点	内 容	方 法
知識及び技能	・国名や行きたい場所、その理由について、聞いたり言ったりすることができる。 ・国名を書き写すことができる。	行動観察 自己評価 相互評価 振り返りシート
思考力、判断力、表現力等	・自分が行きたい国や地域について理由も含めて伝え合っている。	
主体的に学習に取り組む態度	・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとしている。	

5 単元指導計画 (別紙)

6 本時の指導 (7 / 8 時間)

(1) 目標

おすすめの国について紹介することを整理し、伝え合う。 【思考力、判断力、表現力等】

(2) 研究との関わり

本時のゴールは、自分が考えた「おすすめの国」クイズを友だち同士で出し合う活動を通して、本単元のゴール「おすすめの国」クイズ発表会に結び付けることである。相手に「おすすめの国」の名所や食べ物・買い物を伝える。聞き手は、相手が伝えようとする「おすすめの国」の理由を聞き取りながら、既習事項を生かし「おすすめの国」を推測する。その際、相手が薦める理由を確認しながら共感的に受け止めて話を聞くことができるようにする。単なるクイズで終わらせるのではなく、会話を通して世界の国々の新たな気付きや友だちのことを知る楽しさを味わわせ、コミュニケーションへの主体性を育みたい。

(3) 展開

時程	学習活動	指導者の活動	○指導上の留意点 ◎評価 ◇配慮を要する児童への手立て
導入 10分	<p>【Warm Up】</p> <p>1 Greetings</p> <p>2 Let's Sing</p> <p>3 Review ・ Let's Chant 【It's a nice country】</p> <p>4 Today's goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「おすすめの国」クイズをしよう！</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく挨拶をする。 ・歌とダンスのめあてを確認する。 ・チャンツで楽しく発音し、十分に音声に慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達との挨拶を取り入れ、楽しい雰囲気をつくる。 ○はっきり発音することや友達とのふれ合いを意識させる ○キーワードを繰り返す。 ○単元ゴールである「おすすめの国」クイズ大会をするための活動であることを確認する。 ○本時のめあてをつかませる。
展開	<p>【Main Activity】</p> <p>5 Small Talk ・「おすすめの国」クイズのやり方を確認する。</p> <p>6 Activity ・これまでのワークシートに書いた「おすすめの国」クイズを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>You can see～. It's ～. You can eat～. It's ～. You can buy～. It's ～. What country is this?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が「おすすめの国」クイズのデモンストレーションを行う。 ・「おすすめの国」の紹介の仕方をつかませる。 ・伝える表現の確認をする。 ・伝える表現で十分に親しんでないものがあつたら、慣れ親しむ活動を取り入れる。 ・机間指導をしながら困っている子に声をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師が「おすすめの国」クイズを提示し、交流のイメージをもたせる。 ○「名所・食べ物・買い物」の順で、相手に伝えるように助言する。 ○慣れ親しんだ表現を使うことを確認する。 ○写真や絵を使いながら楽しく交流できるようにさせる。 ○紹介する順番も考えさせ、友達同士で楽しめる「おすすめの国」クイズにする。

展開 28分	<ul style="list-style-type: none"> ・ シェアリングタイム <p>7 Let's Read & Write</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に活動のよい点を伝える。 ・ 友達に関わる新たな気付きについて感想を交流させる。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◇表現を忘れていた児童にはワークシートや黒板掲示を参照させる。 ◎紹介の順番を考えながら「おすすめの国」クイズを行っている。(行動観察・相互評価・自己評価) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○よかった点を共有させて次時の活動につなげる。 ○3つのポイントについて気を付けて書いているかどうか机間巡視しながら確認する。
	<p>I want to go to <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スペルを唱えながら書き写す。 ・ 書き終わったら教材を使ってチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで習ってきた自分の行きたい国を書き写すようにさせる。 ・ 「形」「位置」「まとまり」に気をつけて書くことを確認する。 	
終末 7分	<p>【Reflection】</p> <p>8 Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りシートを使って、自己評価する。 <p>9 Greetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が紹介したおすすめの国についてわかったことなどを発表させる。 ・ 活動のよかった点を伝える。 ・ 終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観点に沿って振り返らせ、達成感を味わわせる。 ○次時の「おすすめの国」クイズ大会への意欲をもたせる。

7 板書計画

